



Tekkosho.Co.,Ltd.
HANAOKA
精密機械加工 株式会社 花岡鉄工所

確かな技術と厚い信頼で 次代へさらなる飛躍を

世界品質へあくなきチャレンジ

防衛機械から産業用機械まで
高度化・精密化する部品加工に
技術と熱意でお応えします。

国の未来像に直結する防衛機械関連部品製造に
50年以上携わっている当社は、
要求される高精度の多種多様な部品を的確に供給し、
厚い信頼をいただいております。



旋盤加工技術



フライス加工技術



マシニングセンター加工技術



仕上げ

当社ロゴについて



力強い書体は伝統と信頼を表しています。縦横の交わる部分を空けることで、すっきりとした印象を与え、細やかな手仕上げ、新しい技術を常に取り入れる軽やかさを表しています。突き抜けて上昇する鋭角の三角形は、精密機械加工の現場に見られる繊細さと、社員一丸となって未来へと進むエネルギーを表現しています。カラーリングは信頼や誠実な印象を与える青を基調とし、安全、安心や調和を意味する緑をアクセントに使いました。



会社概要

モノづくり企業が集積する広島県海田町で株式会社日本製鋼所様
とのお取引を中心にお客様が必要とする精密機械部品加工に注力。

名称	株式会社 花岡鉄工所
所在地	広島県安芸郡海田町南明神町 3 番 83-29 号 TEL 082-821-1222 FAX 082-821-1229
創業	昭和 24 (1949) 年 2 月
代表者	代表取締役 花岡 耕平
資本金	1 千万円
事業内容	精密機械部品の製造
取扱製品	防衛機械関連部品および組付け、 射出成形機部品
主要取引先	株式会社 日本製鋼所 広島製作所 株式会社 ジャスト 株式会社 サン・テクトロ 日鋼テクノ 株式会社
取引銀行	もみじ銀行 海田支店 広島銀行 海田支店 広島信用金庫 海田支店

沿革

戦後まもなくの創業以来激動の時代を技術力と柔軟性で成長、
次なる 100 年企業へ確かな歩み。

昭和24年(1949) 2月	初代社長花岡耕作が安芸郡船越町(現広島市安芸区船越南5丁目)にて創業。株式会社日本製鋼所(JSW)広島製作所様の協力工場として業務を開始。
昭和40年(1965) 2月	資本金1,000千円にて有限会社として法人化。
昭和48年(1973) 5月	広島市南区月見町の広島精密機械工業協同組合の設立会員となり、当組合の工場内に移転。防衛機械関連部品加工に特化した業務を展開する。
平成11年(1999) 3月	代表取締役社長に花岡敏廣が就任。 資本金を10,000千円とし、株式会社に改組。
平成15年(2003) 8月	CAD、CAMを導入。
平成19年(2007) 8月	OKUMA横形マシニングセンターを導入。
平成21年(2009) 8月	安芸郡海田町南明神町に工場を新築し、本社・工場を移転。引き続き、防衛機械関連部品加工をはじめ、射出成型機部品などの製造をおこなう。
平成22年(2010)12月	ISO9001:2008/JIS Q 9001:2008認証取得。
平成23年(2011) 3月	OKK 立形マシニングセンター、滝澤 簡易NC旋盤導入。
平成25年(2013) 5月	東京精密 3次元座標測定機導入。
平成28年(2016) 8月	OKUMA NC旋盤導入。
平成29年(2017) 5月	OKUMA 立型マシニングセンター導入。
8月	山崎技研 2軸大型汎用フライス導入。
平成31年(2019) 4月	創業70周年を迎える。
令和元年(2019) 10月	代表取締役社長に花岡耕平が就任。
12月	ISO9001:2015/JIS Q 9001:2015認証取得。
令和2年(2020) 4月	3次元対応Mastercam Mill導入。
5月	山崎技研 2軸大型汎用フライス導入。
9月	滝澤 CNC大型普通旋盤導入。
令和3年(2021) 9月	オフィシャルホームページ開設。
9月	私募債発行。
11月	株式会社日本製鋼所広島製作所様より「2020年度 優良取引先表彰」を受ける。
令和4年(2022) 11月	私募債発行。
令和5年(2023) 1月	OKUMA大型NC旋盤導入。
8月	OKUMA大型マシニングセンター導入。
10月	オフィシャルホームページリニューアル。
令和6年(2024) 5月	山崎技研 2軸大型汎用フライス導入。
6月	私募債発行。

おかげさまで創業 70 周年を迎えることができました。

これからも地域とともに歩み続けます。

当社は、1949(昭和24)年創業以来一貫して精密機械部品加工の分野で技術を磨き、時代の潮目をしっかりと見定めながら研鑽を重ねてまいりました。その間のさまざまな経験は、お客様あつての製造業を痛切に実感。お客様や社員の幸せを願うならば、立ち位置は常に先を見越しておかなければなりません。他社にもひけをとらない先行投資は、そこからの発想です。日本には星の数ほど多くの企業が存在しますが、100周年を迎えることができる企業は、そのうち3%にも満たないといわれています。謙虚に、そして大胆に時代の荒波へチャレンジを続け、100年企業をめざします。

ごあいさつ

地域の未来を担うモノづくり企業としての誇りを胸に
全社の一体感を大切にチャレンジと進化を続けてまいります。

当社は、昭和24年創業以来、一貫して精密機械部品加工を柱に、高精度の製品加工に携わってまいりました。株式会社日本製鋼所 広島製作所様の協力会社として、ミクロン単位の精度が求められる防衛機械関連部品製造に注力してからは、約半世紀に及ぶお取引をいただいております。厚い信頼をいただいているものと自負しております。近年では、射出成型機部品製造を2本目の柱とすべく技術研鑽を進め、幅広いご用命にお応えしております。デジタル化、情報化が急速に進行する時代にあって、精密機械加工の分野でも、技術革新は日々、めまぐるしく進んでおります。モノづくり県広島の誇りを胸に、互いの情熱をよい刺激にしながら、切磋琢磨し迷いなく、時代の先端を並走しております。今後とも、みなさまよりいただいたこれまでのご厚情に感謝し、新しい出会いをエネルギーにして、精進してまいります。次なる100年企業をめざし進化する花岡鉄工所に、ご期待ください。

代表取締役 **花岡 耕平**



企業理念

少数精鋭のモノづくり企業としての誇りを大切に、社員をはじめ、すべてのお客様の幸せづくりに寄与し、ひいては地域社会の発展に貢献できる企業をめざします。

「 社員のやりがいを最大限に引き出します 」

「 わたしたちは利益追求だけを目的としません 」

「 取引先企業様、協力会社様、社員が喜びを共有できる
企業をめざします 」



品質管理 ISO9001 認証取得

当社では品質マネジメントシステムに関する国際規格である「ISO9001」を取得しています。長年の経験と実績を基に、「品質管理システム」を構築し、「品質マニュアル」を作成、全社一丸となって組織的に品質マネジメントに取り組んでいます。



MS
CM007



ISO 9001
10QR・1598



品質方針

たゆまぬ努力と創意・工夫により技術水準の向上に努め、高い品質の製品を提供することにより、お客様の満足と信頼にお応えします。

私募債の発行について

当社では右記の通り私募債を発行いたしました。私募債の発行は、財務内容等について一定の基準を満たす優良企業に限定されるため、企業としての信用力の高さを認めていただいたものと思っております。今後も安定した資金調達により、さらなる設備投資や業務品質の向上に努め、地域社会に貢献していく企業をめざします。

もみじ銀行 銀行保証付私募債

発行日：2021年9月28日
発行額：3千万円

広島銀行 銀行保証付私募債（地域まちづくり貢献型）

発行日：2022年11月15日
発行額：5千万円

広島ドラゴンフライズのゴールドパートナーとして、
私募債を利用し寄付金を贈呈させていただきました。

[広島ドラゴンフライズのHPをみる](#)



もみじ銀行 銀行保証付私募債

発行日：2024年6月14日
発行額：3千万円

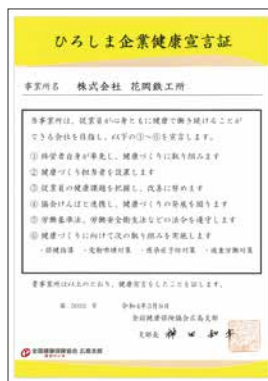
株式会社日本製鋼所広島製作所様より 優良取引先表彰されました。

株式会社日本製鋼所広島製作所様の優良取引先表彰は「広島製作所の生産活動を日頃から支えている国内外の取引先の中から、品質・コスト・納期を含む全8項目を総合的に評価し、その年に最も貢献の高かった取引先を表彰する」もので表彰式では感謝状と記念品を拝受しました。



ひろしま企業健康宣言 健康優良事業所に認定されました。

令和4年度(3年度の取組)において全国健康保険協会広島支部が定める「ひろしま企業健康宣言健康づくり優良事業所」に認定されました。今後とも社員一同心身ともに健康増進に向けて取り組んでまいります。





株式会社花岡鉄工所 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
積極的な取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2022年9月12日
株式会社 花岡鉄工所 代表取締役 花岡 耕平

当社のSDGsへの貢献

■チャレンジと進化

たゆまぬ努力と創意工夫が織り成す高品質な製品を提供することで、技術立国日本の産業発展に貢献してまいります。

【主な取り組み】

- ・本業を通じた精密機械の加工による日本のものづくり産業発展への貢献
- ・ISO9001認証取得による品質・安全性を追求したものづくりの実践



■社員が喜ぶ会社

社員のやりがいを最大限に引き出すため、安全衛生や、働きやすさを意識した職場環境の整備に努めてまいります。

【主な取り組み】

- ・短時間勤務、変形時間労働制導入による社員の事情に合わせた勤務体系の整備
- ・資格取得支援制度、勉強会の実施による人材育成
- ・ひろしま企業健康宣言の実施



■地球との調和

会社の成長、産業の成長とともに、地球の環境を改善する取り組みを通じて、持続可能な地球の創生。

【主な取り組み】

- ・金属くずや廃油をはじめとした産業廃棄物の適切な分別、専門業者への委託による適切な処理
- ・工場内のLED照明への切替え、省エネ・CO₂排出量削減となる工作機械 設備の導入



■広島未来を担う

ものづくり県“広島”の誇りを胸に、地域の繋がりを大切に、地域活性化に向けた様々な活動を行ってまいります。

【主な取り組み】

- ・地元人材採用による地域雇用維持への貢献
- ・海田町の情報誌：暮らしの便利帳への協賛
- ・地元コミュニティへの参画による地域活性化への貢献



SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略。持続可能な社会をつくるために、世界が抱える問題を17の目標と169のターゲットに整理したもの(2015年9月に国連で採択)。2030年までに、政府、企業、地域社会のあらゆる人が、SDGsを実現するための役割を担っている。

わが社の強み

永年の防衛機械関連部品製造で培われた経験と
時代に合った新しい技術力をあらゆる場面で発揮します。



多品種少量生産、超精密加工

各種精密機械部品は、お客様の要求に合わせ機能や形状が異なり、少量ずつ作ることが求められます。これを実現するために、多彩な工具を適材適所で利用するとともに、工具の能力を引き出す治具を自社で独自開発しています。こうしてお客様が要求するミクロン単位の公差（製品の完成度において許容される誤差の範囲）を実現。緊張感のある作業環境を創造するなかで「寸法どおり」「納期どおり」を継続し、「信用と信頼」を築いてきました。



伝統と革新、確かな技術力

戦後、日本のモノづくりは「伝統と革新」の両面で日本の発展をけん引してまいりました。特に、広島県においては造船・鉄鋼・自動車を軸にモノづくり県として成長。当社も、その一翼を担うべく誇りをもって業務を推進してまいりました。70年の社歴の中で培われた伝統的な作業工法を大切に継承しつつ、日進月歩といわれる新しい技術にも決して目を背けず、むしろ敏感になって取り込むことで、他社との競争力を高め、時代に合った製品を作り出し続けています。



少数精鋭の職人集団、チームワーク

当社の社員は、オペレーターではなく、一人ひとりがエンジニアであり、クリエイターです。「発想力が豊かな人」「情報収集力に秀でた人」「手先感覚の細やかな人」など個性派集団でもあり、そんな個性を大切にしています。それぞれが持つ技能や情報を共有し、連携することで、より大きな力となって機能しているのがわたしたち花岡鉄工所なのです。ときに「勉強会」を開き、一体感の中で個々の、そして会社の成長を図っています。



事業内容

超精密加工技術でお客様のあらゆるニーズにお応えしています。

高い精度が求められる「防衛機械関連部品製造」を主要事業に、近年は「射出成型機部品製造」に代表される一般産業用機械向け部品製造に力を注ぐなど幅広い分野で高い評価をいただいています。

防衛機械関連部品製造

高い技術力と経験で
防衛関連製品に最高レベルの精度を実現。

お客様のさまざまな要求に対し創業以来培ってきた「旋盤加工技術」「フライス加工技術」「マシニングセンター加工技術」さらには「手仕上げ」までを駆使して、SCM440(クロムモリブデン鋼)ほか各種鋼、SKD(合金工具鋼鋼材)、SUS(ステンレス鋼)、非鉄金属に分類される各種アルミニウム、真鍮などの黄銅または青銅、さらにはナイロン樹脂などの多様な材料を使用し、レバーやリンク、ブラケットをはじめとする多彩な形状の製品加工をおこなっています。高い精度が求められるこの分野において、半世紀以上にわたって業務を遂行してまいりました。そうした実績こそが、お客様とのゆるぎない絆を築けているものと自負しています。



射出成型機部品製造

小型部品から大型の製品まで
お客様が求める高精度製品を供給。

精密加工技術の分野も、技術革新の波は急速に訪れています。新しい情報や技術を積極的に取り入れ、そのなかで、近年注力するのが「射出成型機部品」の加工です。精度の高い成形品を作り出すためには金型などの必要部品に対して高い精度が求められます。当社ではこうした射出成型機部品の加工に、最適な仕様の工作機械を用い、防衛機械関連部品製造で培われた技術力を生かし、高品質・高強度・高精度の製品を送り出しています。また、社員それぞれの得意分野、視点を生かし独自の治具開発を積極的にすすめることにより、さらなる精度アップはもとより、作業効率の向上、ひいては納期の短縮を実現しています。また、製品の長寿命化を目標に、お客様と協力し、特殊難削材を加工したり、熱処理後の製品を加工するなどの共同開発にも取り組んでいます。



製品の紹介



各種ロングノズル



各種ブロック

THAT'S HANAOKA

花岡鉄工所が得意とする技術

THAT'S HANAOKA 1

創業以来の加工技術を徹底的に磨き上げた 花岡鉄工所の旋盤加工技術

精密機械加工のなかで、主要な技術のひとつが研削加工です。なかでも、軸や筒など、いわゆる「丸モノ」に用いるのが「旋盤加工」です。

当社では、作業効率を上げ、より短納期を実現するNC工作機械を揃え、多品種少量生産に対応していますが、職人ならではの精緻な仕上がりをめざし、従来の機器もまだまだ活躍しており、お客様から信頼をいただいています。



THAT'S HANAOKA 2

「板モノ」加工を自在にする フライス加工技術

旋盤加工が「丸モノ」に用いる技術であるのに対して、「板モノ」には「フライス加工」であり、これも研削加工技術のひとつです。

精密機械加工において「フライス加工」を用いる場面は非常に多く、多様なフライス加工機があり、それぞれに特徴をもっています。理想の製品を仕上げるためにも、フライス加工機は欠かせないことから、当社では、多彩な機種を有しており、複雑な加工にも対応しています。また、より精度の高い加工にも最適な工具を選択することで対応しています。



THAT'S HANAOKA 3

高精度・高剛性を高速で実現する マシニングセンター加工技術

「フライス加工」同様、「板モノ」加工にすぐれた技術が「マシニングセンター加工」です。一度の加工で複数の切削工具が使えるため、大幅な作業効率の向上が期待できます。また、工具の着脱にともなう微細なズレも発生しませんので、精度向上にも寄与します。

当社では「立形マシニングセンター」「横形マシニングセンター」をそれぞれ複数台所有し、お客様のさまざまな要求に応えています。



THAT'S HANAOKA 4

時にはあえて「手仕上げ」を採用する モノづくりへのこだわり

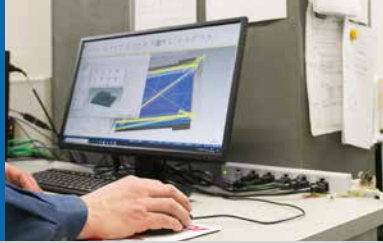
社歴70年のすべてを精密機械加工に特化して従事してきた当社では、機械加工だけでは成し得ない最終調整を、ひとつひとつ丁寧に「手仕上げ」をしていき、製品の信頼性を究極に高めるよう努めています。機械化・ロボット化、システム化が進む精密機械加工の世界でも、最終的には手作業によってその精度が保証されます。これは、今後作業現場の進化が大きく進んでも変わることがないともいわれます。そのため、当社は「やすりがけ」や「きさげがけ」又は「ハンドグラインダー」など、いわゆる職人技の継承にも全社を挙げて取り組んでいます。



工程

すべてが手の届く範囲でおこなわれる一貫した生産管理体制で
お客様から信頼をいただけるよう努めています。

CAD/CAM



お客様より要求される製品をCADを用いて2次元、3次元に図面化します。さらに、NC工作機械で製作するための加工プログラム（NCデータ）をCAMで作成します。

治具製作



治具（じぐ）は、部品や工具の作業位置を正確に導くために重要な器具となります。当社では、時に現場の社員が独自の発想で製作することも多く、作業の精度向上、効率化に貢献しています。

加工



従来の基礎工具から最新のシステム工作機械まで、幅広く適所で利用しながら、公差を遵守した製品に加工します。多品種少量生産のなかで一品一品の精度を最優先に作業を進めています。

仕上げ



加工後の表面処理や熱処理などをおこない、精度を高めるとともに、長寿命化を図ります。機械では成し得ない表面のなめらかさや微細な凹凸の研削など、図面通りの仕上がりを追求し、やすりがけなど手作業で最終仕上げを施します。エンジニアとしての感性や美意識が働く工程でもあります。

検査



完成した製品をひとつひとつ丁寧に検品します。製品の性格上、「公差」もミクロン単位で指定されており、妥協は許されません。「信用と信頼」をいただくための緊張感のある工程です。

納品



すべての工程を終え、完成した製品を丁寧に梱包し、お客様に納品します。お取引先の担当者様と直接対話する事を大切に、さらなる業務改善のアイデアを得ています。

設備・機器

最新の技術を投下した設備から旧来の信頼できる機器まで
精度と効率の適材適所でモノづくりに努めています。

NC 旋盤



オークマ LB4000EX-II-MX



オークマ LB3000EX-II-MY

CNC 普通旋盤



滝澤鉄工所 TAC-510



滝澤鉄工所 TAC-650-L15

普通旋盤



池貝 IN-25



池貝 ED-18

フライス盤



山崎技研 YZ-500WR (2台)



山崎技研 YZ-8CR

マシニングセンター



オークマ MA-500HB



オークマ MB-66VA



牧野フライス製作所 KGJP-55



牧野フライス製作所 2KG



オークマ MB-56VB



OKK VM7 III



岡本工作機械 PSG-64DX



FANUC ROBOCUT α-1C

平面研削盤

ワイヤカット



三菱重工工作機械 M-V70En



吉田 YCD-700

直立ボール盤

スロッター



中防鉄工所 SLP-220



MASTERCAM Mastercam Mill3D
MASTERCAM Mastercam Mill2.5D

CAD/CAM

卓上ボール盤

北川鉄工所 KDT-360 / キラ・コーポレーション NRD-340

のこ盤

アマダマシナリー HA250



〒736-0055 広島県安芸郡海田町南明神町3番83-29号
TEL : 082-821-1222 FAX : 082-821-1229
<http://www.hana-mw.co.jp>
E-mail:hanaoka@hana-mw.co.jp

